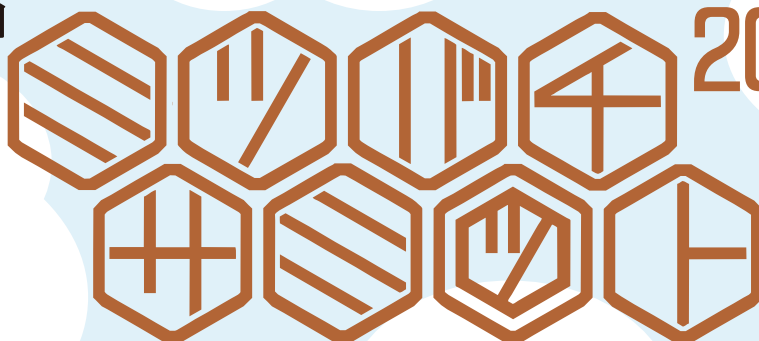
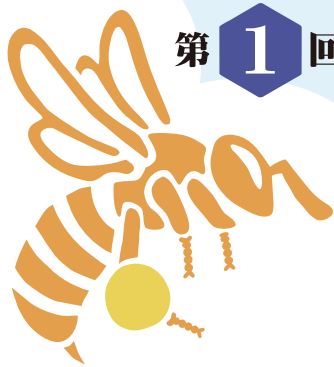


2017年
11月11日(土) 12日(日)

第1回



2017



〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1
会場 筑波大学 大学会館

サミット参加者、募集中

ミツバチと私たちの未来、みんなと一緒に考えよう!!

養蜂

食

医

教育

自主企画

文化

自然

農

スケジュール

11日(土)

- 9:30 受付開始
- 10:00 シンポジウムⅠ「ミツバチ学への招待」
- 12:00 自主企画
- 13:00 シンポジウムⅡ「全国学生養蜂サミット」
- 14:30 自主企画・ポスターセッション
- 18:00 交流会
- 20:00 解散

12日(日)

- 9:30 シンポジウムⅢ「ダニ問題を斬る！」
- 12:00 自主企画
- 13:00 シンポジウムⅣ「送粉者をとりまく話題」
- 15:00 終了(予定)

- ・アニメ「風のように」上映会
- ・蜜蝋キャンドルワークショップ
- ・自主制作ビデオ上映会
- ・メキシコのハリナシバチ
- ・ミツバチの基礎 紹介展示 ・はちみつマルシェ
- ・福祉と養蜂 ・ビーガーデンのすすめ
- ・フォトコンテスト ・アジアのミツバチ
- ・ブックフェア ・はちみつマスターは君だ!

企業展示

現在、出展企業受付中

ミツバチサミット

検索

ミツバチサミット
で検索!

ポスターセッション

- ・活動紹介や研究紹介など受付中
(一次締め切り 7月31日)

〒305-0851 つくば市大わし1-2 農研機構 生物機能利用研究部門内
ミツバチサミット実行委員会
Tel&Fax : 029-838-6289 E-mail : office@bee-summit.jp
<http://bee-summit.jp/>

主催：ミツバチサミット実行委員会

後援：茨城県、つくば市、つくば観光コンベンション協会、全国ローヤルゼリー公正取引協議会、茨城県養蜂協会、日本昆虫学会、日本応用動物昆虫学会、日本生態学会、日本養蜂協会

協賛：アシスト、Au Bon Miel、アリストヘルスアンドニュートリションサイエンス、茨城県獣医師会、京都ニホンミツバチ研究所、高雄工業、パナソニック(PicMate)、藤井電機、日本在来種みつばちの会、フィード・ワン、信州日本みつばちの会、山田養蜂場、日本はちみつマスター協会、アズマ養蜂場、NTN テクニカルサービス、秋田屋本店、SPEC



2017 参加募集要綱

大会主旨

ミツバチサミット 2017 では、ミツバチや送粉昆虫にかかわるすべての人が一堂に会し、日頃の活動や研究成果を紹介することを通じて、ミツバチが直面している問題を共有し、その解決への道と一緒に考えます。

ミツバチや野生送粉者は自然生態系・農業生態系の中で重要な役割を果たしているだけではなく、私たちの食生活・文化活動・教育・医療など、多くの分野で私たちの生活を豊かにしてくれています。このような恩恵を評価し、一般社会にアピールしていくことは、ミツバチ達と私たちが健全に生きていける環境を守ることに役立つと考えます。

このサミットで、人と人が出会い、新たな発想やプロジェクトが生まれ、そして人とミツバチがともに暮らす豊かな未来につながることを願っています。

シンポジウム内容

シンポジウムⅠ。「ミツバチ学への招待」

1. 「ミツバチはなぜ迷子にならないのか? (仮)」 佐倉緑(神戸大)
2. 「なぜニホンミツバチの群れは、キンリョウハンの花に集結してしまうのか?」 菅原道夫(神戸大)
3. 「ミツバチはどうやって増えていくのか? : 女王 と オスバチの面白い話」 林晋也(農工大)
4. 「ニホンミツバチの分蜂時の音(振動)コミュニケーション」 山本哲(兵庫県立大)

シンポジウムⅡ。「全国学生養蜂サミット」

「国内の養蜂業が衰退傾向にある一方で、環境や商店街活性化、まちづくりなどをテーマにした新しいタイプの養蜂が活発になってきました。その担い手として全国各地で活躍している 10 を超える大学生・高校生の団体がつくばに集結! 養蜂の未来について語り合います。」

シンポジウムⅢ。「ダニ問題を斬る!」

1. 「ハチと暮らすダニたち」 岡部貴美子(森林総合研究所)
2. 「ミツバチヘギイタダニ最前線」 松山茂(筑波大学)
3. 「ニホンミツバチのアカリダニ症発生事例と検査法について」 宮地明子(神奈川県環境農政局)
4. 「農林水産省における動物用医薬品承認の迅速化に関する取組」 三谷いほり(農林水産省 消費・安全局)
5. 「これだけは知っておきたい! 抗ダニ剤の国内海外の最新事情」 近藤久美子(アリストヘルスアンドニュートリションサイエンス)

シンポジウムⅣ。「送粉者をとりまく話題」(NARO 国際シンポジウム)

1. 「IPBES - Securing our Future Food: Protecting Pollinators through Science」 Hien T. Ngo(IPBES)
2. 「Bayer Bee Care Program to improve pollinator health.」 Coralie van Breukelen-Groeneveld(バイエル)
3. 「日本の農業に対する送粉サービスの価値評価」 小沼明弘(農研機構)
4. 「花粉交配用昆虫をめぐる情勢」 清水治弥(農林水産省 生産局)

開催概要

実施日時 11月11日(土) 10:00~12日(日) 15:00
会場 〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 大学会館

募集対象

- ミツバチや送粉者に興味のあるすべての人

参加料

一般参加費 1,000円 (高校生以下無料)
交流会参加費 5,000円

(一次)参加申し込み締め切り

2017年7月31日(月)必着

参加申し込みについて

下記の申込用紙を郵送、Fax してください。
インターネットからの申し込みを推奨しています。
参加費の振込みをもって、参加受付といたします。
個人情報について/ご応募いただきました皆様の個人情報は、サミット開催のみに使用し、適切に管理します。

参加費の振込について

振込先 ゆうちょ銀行 支店名: O六八 普通預金
店番号: 068 口座番号: 5342932
名義: ミツバチサミットジツコウイインカイ

連絡先

〒305-0851 つくば市大わし 1-2
農研機構 生物機能利用研究部門内

ミツバチサミット実行委員会
Tel Fax 029-838-6289
E-mail office@bee-summit.jp
http://bee-summit.jp/



ミツバチサミット 2017 参加申し込み用紙 Fax宛先 029-838-6289

参加者 連絡先	氏名	フリガナ	電話		
		— —		日中に連絡のつくところ	
	住所	〒 —			
	e-mail		所属		
ポスター 発表	参加希望箇所に印をつけてください。 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	ポスター発表の区分に印をつけてください。 <input type="checkbox"/> 活動紹介 <input type="checkbox"/> 研究発表 <input type="checkbox"/> その他	ポスター発表の仮タイトル	振込金額	参加費 1,000円 × ___ 人 計 _____ 円
					交流会費 5,000円 × ___ 人 計 _____ 円
				振込金額 合計 _____ 円	
一番関わりのある分野(興味のある分野)に印をつけてください。			<input type="checkbox"/> セイヨウミツバチ <input type="checkbox"/> ニホンミツバチ <input type="checkbox"/> マルハナバチなどの送粉昆虫 <input type="checkbox"/> ハチミツなど <input type="checkbox"/> 文化芸術 <input type="checkbox"/> 教育 <input type="checkbox"/> 医療		